

図書館に聞いてみた！

～レファレンス事例集①～

これまで図書館によせられたレファレンスの中から、津山に関する問い合わせとそれについての回答を紹介します。

津山市立図書館
0868-24-2919

Q：ごんごの由来を知りたい

A:ゴングは津山市横山の吉井川の覗き淵に棲んでいた河童です。背中に水盤があり、これで吸い着いて子供を川底へひきずりこんで、その柔らかい尻子をぬいたといわれています。
出典：「心のふるさと美作伝説考」154p 島田秀三郎著 岡山日本文教出版

Q：忠義桜の歌詞を知りたい

A:1番から3番までの歌詞は下記のとおりです。♪
1.桜ほろ散る院の庄 遠き昔を偲ぶれば 幹を削りて高德が 書いた至誠の 詩(うた)がたみ
2.君のみ心安かれと 闇にまぎれてただ一人 刻む忠節筆の跡 めぐる懐古に 涙湧く
「天勾踐を空しうするなかれ 時に范蠡 なきにしもあらず」
3.風にさらされ雨に濡れ 文字はいつしか消えたれど つきぬほまれの物語 永久に輝く花のかけ
出典：「新版 桜木の宮」25p 福田景門著 作楽神社社務所出版

Q：ねり天神について知りたい

A:天神様は学問の神様といわれ、旧暦3月3日の桃の節句に、男の子の初節句を祝い、天神人形を贈る習慣があります。練天神は、土人形・泥天神ともいわれ、昔は流し雛と同じで、一年のけがれを天神に託して、川へ流す民俗信仰としてはじまりました。
出典：「ふるさとの匠と技3」276p ナック映像センター編 中国電力出版

Q：加茂にある文化センター「エスペリア」の名前の由来を知りたい

A:エスペラント語で「希望の国の」という意味。加茂町が愛称募集したところ、全部で73通の応募がありその中から選ばれたことが「広報かも 平成8年4月号」の7pに記載されています。

Q：貸出可能な津山市庁舎の写真が掲載された資料が欲しい。

A:①「わたしたちの津山」12～13p 津山市教育委員会編・出版
②「暮らしの便利帳 2014」12～13p 津山市編・出版
③「津山市庁舎建設の記録」表紙 津山市編・出版
* ①②に本庁舎と支所の外観あり。③は白黒写真 最終ページに見取り図掲載。
どの本も貸し出しができます。

Q：津山市の毎月の出生数が知りたい。

A:広報つやまの“けいじばん”に記載があります。
たとえば広報つやま2016年の4月号によると、2016年2月1日の出生数は59人です。

Q：津山の南山焼について知りたい。

A:南山焼の開窯は諸説あり、天保年間または、明治9年ともいわれています。
創始者は津山の小池寅治郎氏。はじめ、京都から陶工を呼んで、主として茶陶を焼きました。
当時その焼成が風雅であることから、愛玩されました。
その後、日用雑器を多量生産して長く続いたが、昭和24、5年ごろ廃窯しました。
廃窯当時の窯元は、小池寅次郎氏(創始者の孫)、陶工は福郷柳仙氏と弟の福郷不徹氏です。
出典:「岡山の焼物」172p 桂又三郎著 日本文教出版

Q：津山市の市の花が知りたい。

A:市の花は、さつき・さくらです。
ちなみに、市の木はくすのきです。
出典:「岡山県市町村ハンドブック 平成27年版」10p (公)岡山県市町村振興協会出版

Q：日本人女性初のオリンピックメダリスト、人見絹江が津山高等女学校でコーチをしたのはいつか。

A:昭和4年9月13日午後から、津山高等女学校の校庭で、同校選手に対して、陸上各競技を指導したと、記載があります。
出典:「津山高校百年史 上巻」344p 岡山県立津山高等学校同窓会出版

Q：鶴山に桜を植樹した福井純一氏について事跡がわかるものを探している。

A:明治32年津山城を公園にする話があり、明治33年に整備のあり方を検討するために、公園委員が組織された。福井氏は38年からそのメンバーに加わり、桜植樹の中心的役割を担った。
大正4年と昭和3年の御大典記念植樹では、私財を投じるとともに寄付集めに奔走したと、記載があります。
出典:「津山城百聞録」250p 津山市出版

レファレンス事例集は、津山市立図書館ホームページでご覧になれます。

<http://tsuyamalib.tvt.ne.jp/index.html>